

2年	単 元 名	長さをはかって表そう
算数		

1. 単元の目標

長さの測定などの活動を通して、単位の意味と測定の原理を理解し、単位を用いて的確に表現する力を養うとともに、長さについて量の感覚を身に付け、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。

2. 学校図書館活用のポイント※目標との関連も踏まえて

図鑑にある魚の長さ（体長）を測り、既習事項をいかして問題づくりをする。

3. 授業での活用場面（10/10）

学習活動	学校図書館の関わり
1 これまでの学習をふりかえる	・
2 めあての確認	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> ずかんにある魚の長さをつかって問題を作り友だちとつたえあおう </div>	
<ul style="list-style-type: none"> ・どんな問題がつくれそうかな ・魚の大きさを比べて ちがいを考える問題をつくろう ・およその長さを答える問題をつくろう 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館の図鑑に掲載されている魚を見て、どんな問題をつくることができるかを考える。 ・実寸の魚のコピーを子どもたちに配付し問題づくりに使用する。
3 自分の作った問題を友達に伝え合う	<ul style="list-style-type: none"> ・選んだ図鑑を 黒板に提示しておく。
4 全体で共有する <ul style="list-style-type: none"> ・困ったことや友だちの工夫を全体で伝える 	
5 ふりかえり	

4. 考察（成果や課題等）

・図鑑にある魚を用いて学習を進めたことで、興味をもって魚の長さを測っていた。また、自分の手の大きさと比べるなどして、大きさに見当をつけることができるようになった。

・これまでは、図鑑を見るとき、絵や写真ばかりを見ていたが、数値にも興味をもつようになり、「図鑑を見る」から「図鑑を読む」ようになった。